

## 週報①

### 広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	12月												11月							
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月 ~3日	12月 ~10日	
カンピロバクター	99	99	47	48	99	77	32	30	46	63	57	67	75	49	29	47	43	13 (1)	13	
病原性大腸菌	90	30	53	40	44	45	81	37	55	103	120	108	102	56	52	49	80	23 (2)	23	
腸管出血性大腸菌	1	10	2	0	2	0	0	1	4	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	
サルモネラ	3	16	12	12	14	5	3	2	2	7	7	13	25	6	12	15	6	3	1	
黄色ブドウ球菌 MSSA	22	26	19	13	20	18	11	10	13	14	21	8	12	15	18	21	18	1 (1)	6	
黄色ブドウ球菌 MRSA	9	17	18	15	16	20	14	10	14	15	14	10	11	11	9	5	9	4	4	
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
その他	3	4	1	5	4	1	2	1	2	0	0	4	8	2	1	0	2	0	0	
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
アデノウイルス	1	5	7	3	2	2	6	0	1	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	
ノロウイルス	0	1	0	0	0	1	2	11	6	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	

( )は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

## 週報②

### 広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和5年第49週(12月4日~12月10日)

#### 2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	9	結核	9	1	3	2		2	1	
三類	0	発生なし	0							
四類	2	E型肝炎	1					1		
		つつが虫病	1					1		
五類	16	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2						2	
		侵襲性肺炎球菌感染症	1		1					
		梅毒	13	1		3	1	4	1	3

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町  
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

■コメント

1 インフルエンザ

定点当たり42.69人と、前週の約1.5倍に増加し、警報レベル(定点当たり30)を上回りました。  
 また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等が60件報告されています。手洗い、咳エチケット、適度な湿度の保持、換気などの感染予防対策を徹底しましょう。

2 咽頭結膜熱

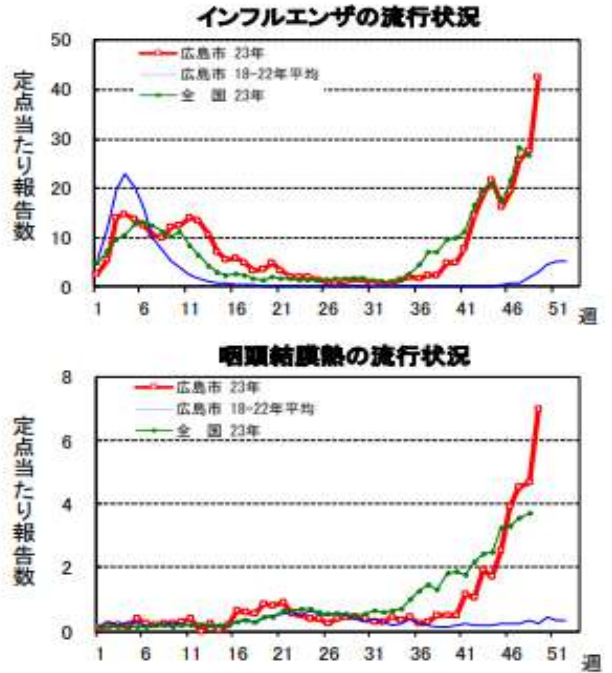
定点当たり7.00人の報告がありました。1999年の感染症法施行以降での最多を更新した第45週以後も増加が続いています。手洗いの励行、タオルの共用は避けるなど、感染予防を心がけましょう。

3 感染性胃腸炎

定点当たり4.65人の報告がありました。こまめな手洗い、便・吐物の適切な処理など感染予防対策を徹底しましょう。

4 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり1.78人の報告があり、前週と比べてやや増加しました。引き続き、基本的な感染対策を徹底しましょう。



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号
インフル	インフルエンザ	1537	42.69	2.94	▲	小児科	ヘルパンギーナ	3	0.13	0.42	
	新型コロナ(COVID-19)	64	1.78		◻		流行性耳下腺炎	-	-	0.03	
小児科	RSウイルス感染症	-	-	0.23		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	
	咽頭結膜熱	161	7.00	0.21	◻		流行性角結膜炎	12	1.50	0.45	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	89	3.87	1.38	◻	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	107	4.65	5.72	▶		無菌性髄膜炎	-	-	0.03	
	水痘	6	0.26	0.22			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.03	
	手足口病	17	0.74	0.99	◻		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	伝染性紅斑	-	-	0.17			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.03	
	突発性発しん	3	0.13	0.27							

急増減 ▲ (前週と比較しておおむね1:2以上の増減)  
 増減 ◻ (前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減)  
 微増減 ◻ (前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減)  
 横ばい ◻ (ほとんど増減なし)

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	119	70歳代・2人
4	E型肝炎	1	3	60歳代
4	つつが虫病	1	6	70歳代
5	梅毒	4	264	20歳代・2人、30歳代・1人、60歳代・1人